

**表題： 内視鏡切除された pT1 大腸癌を有する高齢者に対する追加腸切除後の治療成績に関する多施設後ろ向き研究**

**1. 研究の対象**

対象となる方： リンパ節転移のリスクが高い T1 大腸癌の内視鏡治療後、さらに 2010 年 1 月～2019 年 12 月に追加腸切除が行われた 75 歳以上の患者さん

**2. 研究目的・方法**

目的： 内視鏡切除されたリンパ節転移のリスクが高い T1 大腸癌に対しては、追加腸切除が推奨されていますが、高齢者では、手術を行った場合の術後合併症や手術関連の死亡、他病死のリスクが高く、手術を行うべきか判断が難しい場合があります。現時点で、高齢者に対する T1 大腸癌の内視鏡治療後の追加腸切除の治療成績に関するデータが不足しているため、本研究では多施設共同による研究を実施し、高齢者に対する追加腸切除の治療成績を検討することを目的とします。

研究期間： 研究実施機関の長の許可日から西暦 2028 年 3 月 31 日まで

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

- カルテ情報（氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報は除く）
- 画像             検査結果             血液             尿・便             腫瘍組織
- その他（詳細：\*\*\*）

**4. 外部への試料・情報の提供**

- あり（提供先：静岡県立静岡がんセンター）
- なし

**5. 外部への試料情報の取扱い**

提供方法： 配送     インターネットを介して     その他（詳細：\*\*\*）

保管場所：静岡がんセンター大腸外科

保管責任者：塩見 明生

保管期間：本研究の終了が報告された日から 5 年間

当センターにおける管理責任者：栃木県立がんセンター 理事長 尾澤 巖

対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 6. 研究組織

栃木県立がんセンター	大腸骨盤外科	豊田尚潔
栃木県立がんセンター	大腸骨盤外科	宮倉安幸
栃木県立がんセンター	大腸骨盤外科	崎本優里

## 7. 利益相反

本研究の実施にあたり開示すべき利益相反関係にある組織・団体等はありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん又は患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、お申し出いただいた時に、既に研究結果が論文などで公表されていた場合等は、対応できないことがあります。

※照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人栃木県立がんセンター

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13

電話：028-658-5151 FAX：028-658-5297

研究責任者所属部署：大腸骨盤外科

研究責任者氏名：豊田 尚潔